

公告 昭 35.7.6 出願 昭 33.3.27 実願 昭 33-15523

考 案 者	足 羽 敦	大阪市阿倍野区西田辺町1の232早川電機工業株式会社内
出 願 人	早川電機工業株式会社	大阪市阿倍野区西田辺町1の232
代理人 弁理士	鈴 木 茂	外 1 名 (全 2 頁)

洗 濯 機 の 支 持 台 盤

図 面 の 略 解

第 1 図は本案台盤の正面図、第 2 図は下面図、第 3 図は縮断側面拡大図。

実 用 新 案 の 説 明

本案は洗濯機の外筐を支持する台盤の構造に関する考案で外筐 1 を支持する台盤 2 の下面四隅部一方には 2 個の転輪 3, 3 を枢設し他方には 2 個の支脚 4, 4 を定着して洗濯機を支持せしめ該支脚 4, 4 の中間位置に昇降転輪 7 を支持版 6 により枢設し該支持版 6 は内端を支枠 5 に枢止し外端には足踏杆 8 を台盤 2 の側壁に穿設した L 形屈曲孔 9 を貫いて枢着して成り洗濯機を固定しておく場合には、昇降転輪 7 はその足踏杆 8 を屈曲孔 9 の屈曲部から脱しておけばよく洗濯機を移動を移動させる場合には強く足踏杆 8 を踏んで洗濯機を持ち上げ該杆 8 を屈曲孔 9 の屈曲部に掛止させれば台盤 2 は 3 個の転輪 3, 3, 7 により支持されることとなり自由に移動させる事が出来る。

本案は前記のように足踏杆 8 を踏むことにより

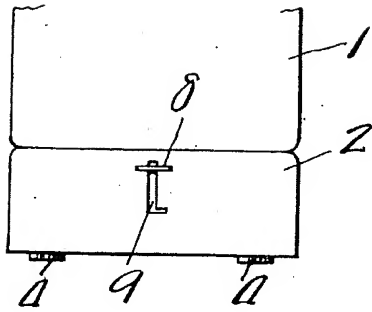
洗濯機の後部が持ち上げられるから足踏杆 8 を屈曲孔 9 の屈曲部に嵌入掛止せしめれば足を離しても転輪が上ることなく支脚 4, 4 が浮上つた状態で台盤が 3 個の転輪により支持され自由に動かすことが出来、之を定置する場合にも足踏杆を踏んで屈曲孔 9 の屈曲部から外せば支脚が洗濯機と共に下り足踏杆を釈放すれば転輪 7 は浮上状態となり機は定置される。提条 10 を附けて牽引しておけば転輪 7 は床面を離れて吊上げられる。

以上のように本案は構造が簡単で而かも取扱が容易であるから洗濯機の台盤として適当な実用品である。

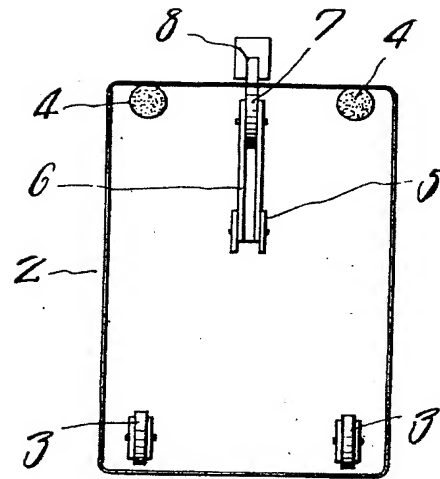
登 録 請 求 の 範 囲

図面に示すように各一對の転輪 3, 3 と支脚 4, 4 とにて台盤 2 を支持し支脚 4, 4 の中間に於いて補助昇降転輪 7 を枢支する支持版 6 の内端を支枠 5 に枢止し外端には台盤 2 の側壁に穿設した L 形孔 9 を貫いて足踏杆 8 を枢着して成る洗濯機の支持台盤の構造。

第1図



第2図



第3図

